

令和2年度東みよし町の温室効果ガス排出状況

本町は、計画期間2019年度から2023年度とする第2次地球温暖化対策実行計画を策定し、2013年度比で-34.8%の削減とする目標値を設定しています。

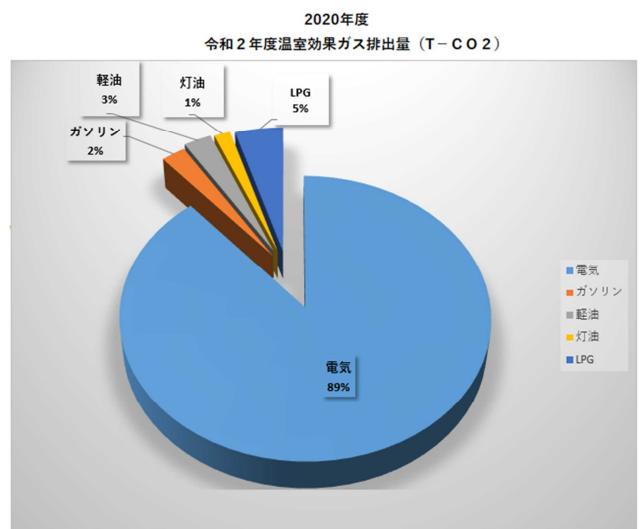
(国の地球温暖化対策計画2030年度の目標値、基準年度2013年度比46%削減し、さらに50%の高みを目指すとの宣言や、2020年10月「2050年カーボンニュートラル」を宣言している)

基準年度 2013年度温室効果ガス排出量5,323 t-CO₂

目標年度 2023年度温室効果ガス排出量3,469 t-CO₂

東みよし町温室効果ガスの推移

排出源		活動量		排出量 (t-CO ₂)	
		2013年度	2020年度	2013年度	2020年度
燃料	電気	5,958,202 kw/h	5,661,699 kw/h	4,171	2,385
	ガソリン	36,136 ℓ	27,056 ℓ	84	63
	軽油	35,947 ℓ	27,865 ℓ	93	72
	灯油	286,110 ℓ	16,976 ℓ	712	42
	LPG	44,066 m ³	20,937 m ³	263	125
合計				5,323	2,687



活動量

○ 温室効果ガス排出量

令和2年度と前年度と比較においては、新型コロナウイルス感染症などの影響もあり、本町が対象とする温暖化ガス排出源「電気・ガソリン・灯油・LPG」の温暖化ガスの排出量が減少した。

(ガソリンが24.6%・灯油が22.4%・LPGが3%・電気が22%減少したが、軽油の排出量は0.5%増加となった。) これは、行動抑制や、暖冬または、電気の温暖化係数の低減など外的要因が強く反映したものとなっている。

○ 本町の行政事務事業における2020年度(令和2年度)の温室効果ガス排出量は、

2,687 t-CO₂ となり2013年度(基準年)比で、49.52%減少している。

電気にかかる二酸化炭素排出係数が低減「四国電力」(0.700kg-CO₂/Kwh⇒0.411kg-CO₂/kwh)したことにより、排出量が減少することとなった。

また、一部施設において新電力会社から電力購入しており二酸化炭素排出係数(0.469 kg-CO₂/Kwh)と電力の排出係数が混在している。